

# 新潟市障がい者地域自立支援協議会 運営事務局会議

## < 議事内容報告 >

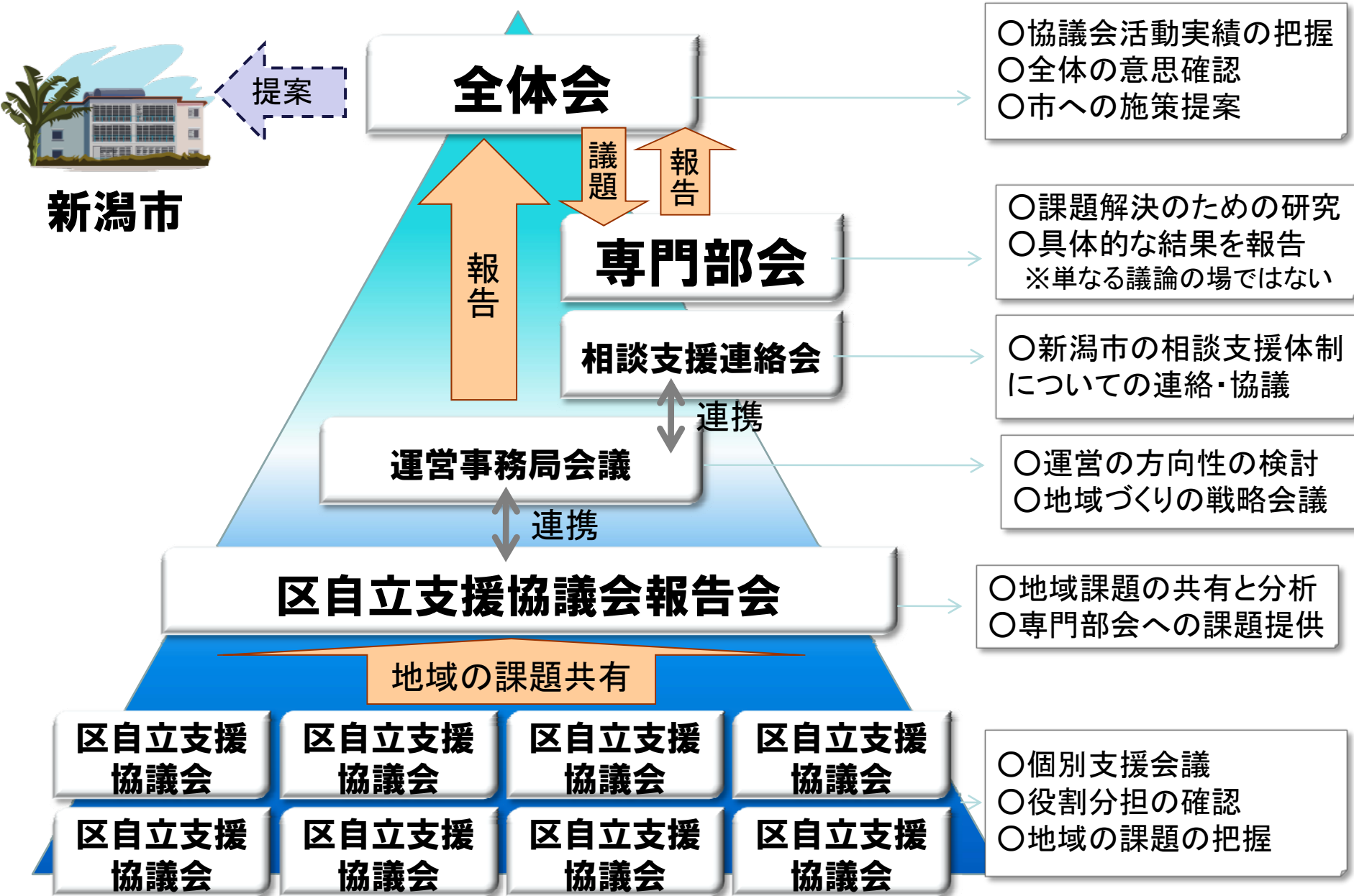
平成24年3月

○ 運営事務局会議は，新潟市障がい者地域自立支援協議会全体の運営を総合調整するために平成23年8月に設けられた会議である。

○ 運営事務局会議は地域自立支援協議会の全てを把握し，区自立支援協議会から抽出された地域課題を分析し，部会設置や制度改正について議論を行う。

○ 運営事務局会議は地域自立支援協議会の羅針盤でありエンジンである。

# 【参考】新潟市障がい者地域自立支援協議会の組織図



# 【参考】運営事務局会議について

## 運営事務局会議の役割

※概ね1～2月に1回の開催を想定

### 《地域課題の現状把握と情報共有》

区自立支援協議会からの「現状ではできない支援」等の報告を受け、現状を把握分析するとともに、構成員でその情報を共有する。

### 《課題解決のための協議・研究》

何が問題で、どのようにすれば解決できるのか、具体的に協議する。専門部会を設置する必要がある場合は、全体会に対し設置承認依頼を行う。

### 《協議会全体の方向性の確認》

協議会全体の方向性を確認し、活動にブレやズレが発生しないよう確認する。必要に応じて、各部会や各区協議会へフィードバックする。

- 
- 運営事務局会議は、協議会運営の「羅針盤」である。
  - 課題を分析し、必要な制度改善に向け具体的議論を行う。

## 構成メンバー

市自立支援協議会会長，副会長，委託相談支援事業者代表，各区障がい福祉係代表，障がい福祉課，その他必要に応じて，関係者。

## 事務局

障がい福祉課

# 運営事務局会議 議事概要

回数	日時	議事（概要）
第1回	平成23年 8月31日	<p>【運営事務局会議の進め方について議論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>運営事務局会議のあり方について，委員間で共通認識を持った。</li> </ul>
第2回	平成23年 10月25日	<p>【障がい者施策推進協議会との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域自立支援協議会は，個別の課題を取り上げることによって，制度全体の改善を検討する場である。必要に応じて，施策推進協議会へ情報提供し連携することとした。</li> </ul> <p>【区自立支援協議会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中央区及び西区で事例としてあがった短期入所の課題について，市内の短期入所事業者の担当者を集めて現場の課題を把握する会議を開催することになった。</li> </ul>
第3回	平成23年 11月22日	<p>【区自立支援協議会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南区自立支援協議会で協議している，特別支援学校への通学に関する移動支援の課題について委員間で共有を図った。必要に応じ，引き続き協議することとなった。</li> <li>中央区自立支援協議会で議論している夜間支援の課題について，協議を行った。短期入所事業意見交換会での意見を踏まえ，今後の検討を行うこととした。</li> </ul> <p>【こども部会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後や長期休暇の居場所について，課題が大きいところであり，放課後等デイサービスを活用の必要性について協議を行った。</li> </ul> <p>【相談支援体制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年4月からの相談支援体制の充実について，新潟市での議論が進んでいないことから，相談支援連絡会で集中的に議論を行うこととした。</li> </ul>

回数	日時	議事（概要）
第4回	平成23年 12月27日	<p>【地域移行支援部会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉室提案の部会について協議を行った結果、当面、地域自立支援協議会の専門部会とはせずに、行政が設置する検討会とすることとなった。</li> </ul> <p>【各部会での課題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部会の報告を受けての今後の方向性について、確認を行った。</li> </ul>
第5回	平成24年 1月24日	<p>【短期入所に関する課題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年12月23日に行った「短期入所事業意見交換会」を基に協議を行った。通所施設で当該施設利用者を緊急時に限り夜間受け入れることについて、実施に向けて検討することとなった。</li> </ul> <p>【来年度の区自立支援協議会の委員について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委員改選の考え方及び当事者参加について協議した。この協議を受け、事務局より各区へ「平成24・25年度の区自立支援協議会委員について」（事務連絡）を発出した。</li> </ul> <p>【特別支援学校の進路検討のシステム化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次回の運営事務局会議で、西蒲区竹田会長、県立江南高等特別支援学校久保田教諭に参加していただき、引き続き協議することとなった。</li> </ul>
第6回	平成24年 2月29日	<p>【特別支援学校の進路検討のシステム化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西蒲区竹田会長、県立江南高等特別支援学校久保田教諭に参加していただき協議した結果、特別支援学校卒業生の進路を検討する部会を設立することとし、全体会に諮ることとした。</li> </ul> <p>【サービス等利用計画の導入と障害福祉サービス利用の組み合わせについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設入所支援＋生活介護を利用する場合の障害程度区分4より低い者の取扱いについて協議を行った。新潟市は現行施設入所待機者もいることから、範囲を拡大することは行わないこととした。</li> </ul>

回数	日時	議事（概要）
第7回	平成24年 3月22日	<p>【区自立支援協議会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北区，中央区，秋葉区，西蒲区の課題について議論（詳細別紙）</li> </ul> <p>【全体会資料の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こども部会」「緊急時の夜間支援の課題について」「特別支援学校の進路検討部会（仮称）について」「地域移行推進会議（仮称）について」の全体会資料の確認を行った。</li> </ul>



# 区自立支援協議会事例の 検討結果

# 北区地域自立支援協議会

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 単身世帯の精神障がい者の事例</li><li>○ 金銭管理がうまくいっておらず，日常生活自立支援事業は本人の意思で解約できるので，もっと踏み込んだサービスを望みたい</li></ul>
運営事務局会議での検討結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日常生活自立支援事業よりも強制力のある制度の創設は，法令の制定が必要となり困難である。</li><li>・ 生活保護を受給している場合は，生活保護のケースワーカーが行政指導として，金銭管理を含めた指導をすることができるのではないかと思料。</li><li>・ このような事例は，相談支援事業者も含めて，ケースを深く掘り下げて行くことで個別ケース対応していくしかない。</li></ul>

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 新潟市の相談支援事業体制等について，考え方を早急に示されたい。</li><li>○ 新潟市障がい者地域自立支援協議会の各会議の概要報告を徹底されたい。</li></ul>
運営事務局会議での検討結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相談支援体制については，相談支援連絡会で議論しているところであるので，別途情報提供を行う予定。</li><li>・ 資料配布等については，事務局が以下のとおり対応する。<ul style="list-style-type: none"><li>◇ 運営事務局会議の議事録については各区障がい福祉係宛て送付する。</li><li>◇ 議題に対する返信については，議題を提案した区に対して返信する。</li></ul></li></ul>

# 中央区地域自立支援協議会

概要	○ 夜間支援について緊急時に障がい者を預けられる施設が少ない状況にある。
運営事務局 会議での検 討結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成23年12月23日に新潟市内の短期入所事業所の担当者を集め「短期入所事業意見交換会」を実施した。</li> <li>・ 通所施設で当該施設通所者を緊急時に限り夜間受け入れることを実施に向けて検討しているところであり、平成24年度にモデル的に実施し、更なる検討を行う予定。</li> </ul>
概要	○ 介護疲れでうつ症状の家族を支援するための、緊急夜間支援について、入院が不可能な場合、また、サービス利用実績がない場合、どのように対応すべきか。
運営事務局 会議での検 討結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時の対応については原則、短期入所で対応すべきところである。</li> <li>・ 平成24年度から北区，東区，中央区，江南区については，社会福祉法人新潟太陽福祉会が実施するコールセンター事業を活用することが可能である。</li> <li>・ 短期入所の課題については，通所施設における夜間緊急時の受け入れについて，現在検討を進めているところである。</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活介護の利用を希望する特別支援学校卒業生について，生活介護は空き状況が少ない状況にある。</li> <li>○ 本人に合う適切な施設をマッチングさせることも必要。</li> </ul>
運営事務局 会議での検 討結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別支援学校卒業後の進路先については，新たに部会を立ち上げ検討する予定である。</li> </ul>

## 秋葉区地域自立支援協議会

概要	○ 医療的ケアの必要な障がい児の家族への支援について、訪問看護の提供時間に上限があり、特定疾患の上乗せが適用されない方は1回90分・週3回の利用に限られており、家族の負担感が強い事例がある。
運営事務局 会議での検 討結果	・ 重症心身障がい児の訪問看護等の医療的ケアについて、特化した議論を行う必要がある。福祉施策として訪問看護の上乗せ派遣を認めている先進事例などを参考にしながら、市としてどう取り組むべきか別途検討会を設けて議論することとしたい。

## 西蒲区地域自立支援協議会

概要	○ 知的障がい者の検診について、学校卒業後40歳に至るまでは医療検診を受診できる制度がないが、症状確認が難しいことや検診への恐怖感が原因で、疾病予防対策がおろそかになり重病に陥ってしまうケースが多いことから、市で何らかの疾病予防対策を検討して欲しい。
運営事務局 会議での検 討結果	・ 障がいがある方もない方もまずは、自己管理（家族管理）を行うことが必要である。 ・ 障がい者が安心して受診できる医療機関については、相談支援事業者を含めたネットワークでの情報共有し、必要に応じてお伝えできるようにするとよい。 ・ 介護給付の利用者は障害程度区分の更新時（3年ごと）に医師意見書のために受診が必要であるため、その際に併せて検診を行うように案内するとよいのではないかと。

# 運営事務局会議 名簿

## ○委員

	関係機関名	氏名
1	社会福祉法人 新潟もぐら会 ポプラの家	山賀 亮一
2	社会福祉法人 新潟太陽福祉会 太陽の村	菊地 康晴
3	社会福祉法人 更生慈仁会 障がい児・者相談支援センター	本田 ゆり子
4	社会福祉法人 白蓮福祉会 相談支援センターあると	佐藤 里香
5	社会福祉法人 新潟みずほ福祉会 相談支援センター わぁ〜らく	海老 郁夫
6	東区役所健康福祉課障がい福祉係 副主査	遠山 貴之
7	秋葉区役所健康福祉課障がい福祉係 副主査	村山 忍
8	西区役所健康福祉課障がい福祉係 係長	草間 丈智

## ○事務局

	所属	氏名
1	障がい福祉課介護給付係 主幹	小林 徳規
3	障がい福祉課介護給付係 副主査	井浦 雄介